

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語	5	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい国語1』(東京書籍)	『常用漢字ダブルクリア四訂版』(尚文出版), 『練成テキスト中1国語』(育伸社), 『まんがで理解 楽しい文法』(とうほう), 『二訂版 カラー 小倉百人一首』(京都書房)

1. 学習の目標

「読む・聞く」「書く」「話す」の三領域の学びを支える言葉の力の基礎を習得する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
様々な知識を得るための技能(語彙力, メモやノートの取り方, 情報の調べ方・読み取り方・まとめ方など)を身につけることを評価の観点とする。	感受性・論理性など思考や判断に必要な能力を磨き, 考えをまとめてわかりやすく伝える力を身につけることを評価の観点とする。	左記の力を身につけることにおいて, 自分の学びの振り返ることや学ぶことに対する粘り強さを評価の観点とする。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 課題確認テスト 「風の五線譜」	授業の受け方・勉強の仕方・ノートの取り方などを学ぶ。 入学前課題のテスト形式で確認する。 詩の鑑賞(表現の仕方・詩の形式など)を学ぶ。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	5	『伊曾保物語』「犬と肉のこと」 口語文法①	古文の文章と現代の文章の違いに注目する。 『楽しい文法』で文の成分・組み立てなどを学ぶ。	
	6	「さんちき」 『伊曾保物語』「鳩と蟻のこと」 口語文法②	心理変化に注意して主題の読み取り方を学ぶ。 古文の文章に親しむ。 『楽しい文法』で単語の種類・名詞などを学ぶ。	
2	9	「オオカミを見る目」 『竹取物語』冒頭	文章の構成について学び, 読解に役立てられるようにする。 古典作品に描かれた人の心のありかたについて理解する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	10	口語文法③	『楽しい文法』で副詞・連体詞・接続詞・感動詞などを学ぶ。	
	11	「私のタンポポ研究」 『竹取物語』結末 口語文法④	事実からどのように意見を導いているかに注目して読解する。 古典作品に描かれた人の心のありかたについて理解する。 『楽しい文法』で助動詞などを学ぶ。	
3	1	「ニュースの見方を考えよう」	情報リテラシーの重要性を学ぶ。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	2	「矛盾」 口語文法⑤	書き下し文を読むことにより, 漢文特有のリズムに慣れる。 『楽しい文法』で助詞などを学ぶ。	

- ※ 年間を通じ, 『常用漢字ダブルクリア』を使った小テストを行い, 語彙力を養う。
- ※ 年間を通じ, 『練成テキスト』等で問題演習を行い, 実践力を養う。
- ※ 年間を通じ, 『小倉百人一首』の暗唱を行い, 日本の伝統文化に親しみながら, 1月の百人一首大会に備える。
- ※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	地理的分野	4	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい社会 地理』(東京書籍), 『中学校社会科地図』(帝国書院)	『地理の資料』(正進社), 『中学実力練成テキスト 社会 地理』(文理)

1. 学習の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
世界と日本の地域構成、地域の規模に応じてとらえた地域的特色、世界と比べてみた日本の地域的特色などを理解し、その知識を身につけている。地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果を地図化したり、報告書などにまとめたりすることができる。	地理的事象から、課題を見いだし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連づけて多面的・多角的に考察し、公正に判断する。また、学び得た知識を発表や討論などを通して他者に伝えることができる。	地理的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土の特色について認識しようとする。また、そこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1編 世界と日本の姿 第1章 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> 世界を地理的に認識するための座標軸として、地球儀や地図を活用して大陸と海洋の形状や分布を取り上げ、地球規模での位置関係をとらえるための技能と知識を身につける。 国境の意味、国名の由来、大きい国と小さい国、人口の多い国と少ない国、海洋国と内陸国などの視点から世界の国々を大観する。 現代の世界は、州や大陸およびそれらをいくつかに分けた地域でとらえられていることや、さまざまな国々から構成されていることを理解する。 	定期試験 提出物 授業への取り組み
	5	第2章 日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国土の位置および領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観する。 	
		第2編 世界のさまざまな地域 第1章 世界各地の人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> 緯度や経度の違いが、私たちの生活にどのように影響するのか、気温の変化や時差をふまえて大観する。 世界各地の住居や人々の生活の違いに着目し、気温や降水量の変化と照らし合わせながら、世界の気候について理解する。 	
	6	第2章 世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域的特色を明らかにする諸活動に、意欲を持って取り組む。 	
7				
2	9		<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域的特色を多面的・多角的に検討するとともに、大観化してとらえ、適切に表現する仕方などを考える。 	定期試験 提出物 授業への取り組み

	10	第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を有機的に関連づけたり、諸要素を適切に取捨選択したりして、地域的特色を大観化、概略化してとらえる技能を身につける。 ・都道府県の名称の由来や成り立ちについて調べる活動を通して、地名や地図への関心を高める。 ・都道府県の名称と位置を地図上で確実に身につけ、日本の地域構成の基本的な枠組み（地域区分）をとらえる活動に意欲を持って取り組む。 	
	11	第2章 日本の地域的特色と地域区分	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の人口について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色をとられる活動を通して、わが国の国土の特色を人口の面から大観する。 ・世界の人口分布や人口増加には大きな地域的偏りがあり、人口増加が著しい国々について人口増加の原因を理解するとともに、どのような対策がとられているか考える。 ・日本の資源・産業について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色をとらえる活動を通して、わが国の国土の特色を資源・産業の面から大観する。 ・エネルギー資源の移動や消費などを題材にして、その類似性や共通性から世界の国々の特色を明らかにする調べ方や学び方を身に付ける。 	
	12	第3章 日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然環境について、世界的な視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本の視野から見た国内の諸地域的特色をとらえる活動を通して、わが国の国土の特色を自然環境の面から大観する。 	
	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地形や気候が人々の生活や生産活動と関わっていることを学び、自然環境の基本的要素として地形と気候を取り上げる意味を理解する。 ・自然環境は資源であるとともに災害を生じさせる二面性を持っていることを理解する。 	
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人々の生活や文化について、世界的視野から日本を一つの地域としてみた地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色をとらえる活動を通して、わが国の国土の特色を生活と文化の面から大観する。 		
3	3	第4章 地域の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の課題や日本の地域的な課題について考察し、それぞれの課題や背景の地域的特色を理解する。 ・身近な地域の地域的特色をとらえる視点や地域調査の方法を理解するとともに、地域的特色をとらえるようにする。 ・自分の暮らす都道府県について、身近な地域の調査の学習成果を生かしながら、統計資料の収集・分析、調査活動によって、県の地域的特色を多面的に理解する。 ・その他の都道府県について、テーマを設定して学習する学習方法や比較や結びつきを明らかにする方法によって、各都道府県的特色を理解するとともに、その方法を習得する。 ・統計資料の収集や分析、調査結果の表現などの諸能力を育む。 ・統計資料の分析、地図や写真の読み取りや比較・関連づけ、調査結果の表現などの諸能力を育む。 ・調査した国への関心をその他の国への関心へと継続し、国家規模の地域的特色をとらえようとする意欲を持つ。 	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学	5	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがる数学1』(啓林館)	『システム数学①代数編 改訂版』(啓林館) 『システム数学①幾何・統計編 改訂版』(啓林館) 『システム数学①代数編 問題集 改訂版』(啓林館) 『システム数学①幾何・統計編 問題集 改訂版』(啓林館)

1. 学習の目標

中学生として基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理している。	数量や図形などの性質を見だし論理的・発展的に考察する力を養い、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現している。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養い、自ら問題解決の過程を振り返って評価・改善している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○代数編 第1章 正の数・負の数 1節 正の数・負の数 2節 正の数・負の数の計算	正の数・負の数 正の数・負の数で量を表すこと 正の数・負の数の大小 正の数・負の数の加法, 減法 加法と減法の混じった計算 正の数・負の数の乗法, 除法 乗法と除法の混じった計算 いろいろな計算 数の世界のひろがり	授業への取り組み 定期試験 実力テスト 小テスト 提出物
	5	第2章 式の計算 1節 文字の式 2節 式の計算 3節 文字式の利用	数量を文字で表すこと 文字式の表し方 式の値 文字式の加法, 減法 文字式と数の乗法, 除法 単項式の乗法, 除法 文字式の利 関係を表す式	
	6	第3章 方程式 1節 1次方程式 2節 比とその性質	方程式とその解 方程式の解き方 方程式の利用 等式の変形 比と比例式 比の利用	
2	7	3節 連立方程式	連立方程式とその解 連立方程式の解き方 連立方程式の利用	授業への取り組み 定期試験 実力テスト 小テスト 提出物
	9	第5章 1次関数 1節 変化と対応	関数 比例 比例とグラフ 反比例とそのグラフ 比例, 反比例の利用	
	10	2節 1次関数とグラフ 3節 1次関数と方程式	1次関数 1次関数のグラフ 1次関数の式を求めること 1次関数の利用 2元1次方程式とグラフ 連立方程式とグラフ	

3	11	○幾何・統計編 第1章 平面図形 1節 図形の基礎 2節 点の集合と作図	1次関数と図形問題 直線と角 図形の移動 条件を満たす点の集合 基本の作図	授業への取り組み 学年末試験 実力テスト 小テスト 提出物
	12	3節 円とおうぎ形	円とおうぎ形 円とおうぎ形の計量	
	1	第2章 空間図形 1節 立体と空間図形	いろいろな立体 平面, 直線の位置関係 面や線を動かしてできる立体 立体の切断 立体の投影図と展開図	
		2節 立体の表面積と体積	立体の表面積 立体の体積 球の計量	
	2	第5章 データの活用 1節 データの活用	度数分布 代表値 データの散らばりと四分位数 起こりやすさと確率	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (物理・地学)	2	中1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがるサイエンス1』(啓林館), 『未来へひろがるサイエンス1 マイノート』(啓林館)	『中学実力練成テキスト 理科1年』(日本教材出版), 『最新 理科便覧 神奈川県版』(浜島書店)

1. 学習の目標

身のまわりの事物・現象について学び、光や音の性質・規則性や力の性質について理解するとともに、観察・実験を通してこれらの事象を日常生活と関連付けて科学的な見方や考え方を養い、光・音・力のはたらきに関する興味・関心を高める。さらに、地下構造を理解し、大地の変化や岩石の分類を正しく理解する。また、地層の重なり方について学び、化石から生物の進化と類縁関係を正しく理解する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
理科に関する基礎的な事柄や自然と人間生活とのかかわりについて理解する。正しく安全に実験器具を使用し、実験する。	学習内容に関心を持ち、進んで取り組んでいる。実験の結果をわかりやすくまとめレポートを作成する。	課題に対し、既習の知識をもとに、根拠をもって自分の考えをまとめ、予想したり、検証の方法を考えたり、実験によって得られた結果を考察する。提出物は完成させ期限を守って提出している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法	
1	4	光・音・力による現象 1章光による現象 光の進み方 光のはね返るときのようす	光に関連する身近な事象に興味・関心をもち、物体が見えることと光の進み方には関係があることを理解する。 反射について理解する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 出席状況 行動観察	
		5	光が通りぬけるときのようす 凸レンズのはたらき		屈折について理解する。 凸レンズを用いた実験を通して、光を観察する。
		6	2章音による現象 音が発生するしくみ		音について興味・関心をもち、音は、物体の振動によって生じることを理解する。
	7	音の伝わり方	音が聞こえるためには、空気など、音を波として伝える物質の存在が必要であることを理解する。		
		音の大小と高低	音の聞こえ方がどのような理由で変わるのか理解する。		
	2	9	3章力による現象 力のはたらき 力のはかり方 力の表し方		力と関係がある現象について興味・関心をもち、物体に加わる力のはたらきを説明する。 力の計測について実験を行い、はたらく力を可視化する方法について理解する。
			10		面に加わる力のはたらき 水中の物体にはたらく力 空気中の物体にはたらく力
11		活きている地球 1章大地がゆれる	地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性をとらえ、震度と地		

3	12	大地を伝わる地震のゆれ ゆれの大きさと地震の規模 地震が起こるしくみ	震の規模との関連について説明する。地震の起こる原因を理解するとともに、地球全体をおおうプレートとその動きを、大陸移動などの大地の変化と関連づける。	授業への取り組み 提出物 定期試験 出席状況 行動観察
	1	2章大地が火をふく 火山の活動 マグマからできた岩石	火山の形や活動のようすを知るとともに、火山の形と火山噴出物をたがいに関連させる。マグマの性質との関連について説明する。火山灰の観察を通して、火山の噴出物から主な鉱物を知る。	
	2	3章大地は語る 地震のでき方 押し固められてできた岩石 歴史を語る化石 大地の歴史	大地をつくっている岩石の風化、水などによる侵食、および運搬や堆積の作用を説明する。堆積岩について、粒の大きさの基準によるれき岩、砂岩、泥岩と生物の殻や骨格などでできる石灰岩やチャート、火山灰の固まった凝灰岩などを知る。 示相化石、示準化石を説明する。	
	3	大地からわかる大地の変動	現在の地層のようすから過去の地殻変動の変動を読み取る。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (化学・生物)	2	中1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがるサイエンス1』(啓林館), 『未来へひろがるサイエンス1マイノート』(啓林館)	『中学実力練成テキスト 理科1年』(文理), 『最新理科便覧神奈川県版』(浜島書店)

1. 学習の目標

身近な植物や物質について、観察・実験を通して認識を深め、生命を尊重し、自然環境を保全しようとする意欲と態度を育てる。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
植物の事物・現象について理解し、知識を身につける。また、身のまわりの物質に関する事物・現象について理解し、知識を身につける。さらに、植物の事物・現象についての規則性を見出したり、創意ある報告書を作成できる。そして、物質の事物・現象について、実験操作や記録の仕方を習得し報告書を作成できる。	植物に関する事物・現象のなかに問題を見出し、実験し、総合的に考察できる。また、物質の事物・現象のなかに問題を見出し、実験し、問題を解決できる。	植物のつくりとはたらき、なかまに関する事物・現象に関心をもち、意欲的に探求する。また、物質の性質や水溶液に関する事物・現象に関心をもち、意欲的に考察する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	植物のくらしとなかま 1章 花のつくりとはたらき	アブラナとツツジの観察を通し、花の作りには共通点があることを見出し、花が生殖器官であることを学ぶ。 種子植物は被子植物と裸子植物に分けられることを理解する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	4章 植物のなかま分け	これまでの観察記録より、種子植物が分類できることを学ぶ。	
	6 7	A章 動物のなかま 「脊椎動物の分類」	動物の生活と体のつくりの特徴を理解し、動物は脊椎動物と無脊椎動物に分類できることを学ぶ。また、脊椎動物と無脊椎動物をさらに細かく分類する。	
2	9	「動物の分類」		定期試験 授業への取り組み 提出物
	10	身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質	身のまわりの物質に興味・関心をもち、どのようにして物質を区別すればよいかを考え、その性質を調べる方法について学ぶ。金属であるか調べる実験を行い、金属に共通な性質を見出すとともに、密度によって物質を区別することができることを学ぶ。白い粉末状の物質を、さまざまな方法で調べ、有機物と無機物について学ぶ。	
3	11	2章 いろいろな気体とその性質	気体の発生・捕集方法・性質の調べ方について学ぶ。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	1	3章 水溶液の性質	水溶液中では溶質が均一に分散していることを学ぶ。濃度について理解し、質量パーセント濃度の計算を行う。再結晶により混合物から純粋な物質が取り出せることを学ぶ。	
	2	4章 物質の状態とその変	水以外の状態変化の例をあげて、状態変化と温度の関係を学	

	化	ぶ。状態変化における体積と質量変化について学ぶ。 (3 学期は調べ学習及びプレゼンの準備を通常授業と並行して行う。)
--	---	---

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
音楽	音楽	1.5	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学生の音楽1』(教育芸術社)	なし

1. 学習の目標

音楽の基礎的なことを学習すると共に、歌唱や器楽等の楽しさを学習する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
音楽に対して関心を持ち、実践的に発表できる力をつけている。	音楽の要素を知覚し、音楽の良さや美しさを表現している。	個性を伸ばしながら工夫をして、興味を持ちながら取り組んでいる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	校歌練習	歌詞を暗譜して歌えるようにする。	期末試験 提出物 実技試験 授業への取り組み
	5	歌唱 楽典	「Well Find The Way」について学習する。 音符、休符、強弱記号について学習する。	
	6	音楽鑑賞 ソルフェージュ	「春」の鑑賞を行う。 音の聴き取り練習を行う。	
	7	歌唱	「浜辺の歌」について学習する。 「浜辺の歌」の実技試験を行う。	
2	9	器楽練習	ソプラノリコーダーの練習を行う。	期末試験 提出物 実技試験 授業への取り組み
	10	器楽練習 歌唱 DVD鑑賞	ソプラノリコーダーの練習を行う。 「赤とんぼ」について学習する。 ミュージカルの鑑賞を行う。	
	11	合唱練習 音楽鑑賞	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。 「魔王」の鑑賞を行う。	
	12	実技試験 合唱練習	ソプラノリコーダーの実技試験を行う。 合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	
3	1	合唱練習 実技試験	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。 合唱コンクール課題曲の実技試験を行う。	学年末試験 実技試験 提出物 授業への取り組み
	2	復習	1年間のまとめ	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
芸術	美術	1.5	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『美術1』 (光村図書)	なし

1. 学習の目標

楽しく美術の活動に取り組み美術を愛する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てるようにする。対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	素描 ・手を描く	身近な対象である自分の手を、鉛筆を使って素描する。普段見慣れているものでも、改めてよく観察することで、新鮮な発見を得られることを知る。	授業への取り組み 提出物 出席状況 期末試験
	5	デザイン ・名刺	「気持ちを伝えるデザイン」自分の名刺をデザインする。名刺サイズの用紙に色鉛筆やカラーマーカーを使用して自分のことを相手に伝える名刺のデザインを考える。受け取る相手の気持ちを考えて工夫をする。	
	6			
2	7			授業への取り組み 提出物 出席状況 期末試験
	9	色彩 ・色相環	有彩色と無彩色、色の三属性、色相環、三原色、色の感情効果など、色彩の基礎を学ぶ。 減法混色を絵の具で制作する。	
	10	・混色		
3	11	レタリング ・明朝体 ・ゴシック体	明朝体とゴシック体の特徴を学ぶ。「永」の字や、自分の名前に使われている字を用いて、レタリングをする。	授業への取り組み 提出物 出席状況 学年末試験
	12			
	1			
3	2	彫刻 ・塑造	粘土で「ピーマン」を作る。各自が用意したピーマンをデッサンし、形体をつかむ。新聞紙で心棒を作り、粘土でモデリングをする。手触りや質感などの細かい特徴を丁寧に観察しながら制作する。	
	3	・ピーマンの制作		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健体育	3	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『最新中学校保健体育』(大修館書店)	『健康手帳』(神奈川県学校保健連合会)

1. 学習の目標

運動の楽しさや喜びを味わいながら体力の向上をはかり、健康を保持増進し、自己や仲間の安全を考え、互いに協力しながら運動を実践できるようにする。また、ルールやマナーを守り、自己の役割が果たせるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
健康・安全についての基礎的な知識と各種の特性に応じた基本的技能を身につけている。授業や各種目のルールをよく理解し、実践している。	自己の課題を発見し、解決を目指して運動の仕方を工夫している。自己の考えを適切に表現し、課題解決に結びつけようとしている。	健康・安全に留意して、自己の最善を尽くして運動に取り組もうとしている。互いに協力しながら運動や健康の課題に取り組もうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○体づくり運動	ラジオ体操第一 整列、方向転換、人員点呼、列の増減、行進等 50m走、持久走、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、握力、 長座体前屈、反復横跳び、上体起こし 前転、後転(開脚、伸膝)、補助倒立等 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食事と健康 4 休養・睡眠と健康 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発育・発達 ※保健は天候に応じ適宜実施	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 期末試験
	5	・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト		
	6	○器械運動		
	7	・マット運動 ○保健 調和のとれた生活		
		心身の発達と心の健康		
2	9	○水泳 ・自由形	水慣れ 基本技能(ストリームライン、プル、キック、けのび等) 自由形のコンビネーション 現代的なリズムのダンス、リズムダンスの創作 ボール慣れ、パス(オーバーハンド、アンダーハンド、対人) サーブ(アンダーハンド) ボール慣れ、ドリブル、パス(対人、ランニング)、シュート 3 生殖にかかわる働き(1) 4 生殖にかかわる働き(2) 5 性への関心と行動 6 知的機能・情意機能の発達 7 社会性の発達と自立 8 自己形成	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 期末試験
	10	○ダンス		
	11	○球技		
	12	・バレーボール		
		・サッカー ○保健 心身の発達と心の健康		

3	1	○陸上競技 ・長距離走	9 欲求とその充足 10 心と体のかかわりとストレス 11 ストレスへの対処のしかた ※保健は天候に応じ適宜実施 タイム計測, 呼吸法, ペース走等	授業への取り組み マラソン大会結果 提出物 行動観察 実技試験 定期試験
	2	○武道 (選択制)	礼法, 素振り, 足さばき等	
	3	・剣道 ・柔道 ○体育理論 運動やスポーツの 多様性	礼法, 道着の着脱, 受け身等 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ 2 運動やスポーツへのかかわり方 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方 ※体育理論は天候に応じ適宜実施	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語	5	中1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『NEW TREASURE STAGE1』(Z会出版), 『Sunshine English Course 1』(開隆堂)	『NEW TREASURE STAGE1 CDs for Students』(Z会出版), 『NEW TREASURE STAGE1 文法問題集』(Z会出版), 『NEW TREASURE Stage1 英単語』(Z会出版)

1. 学習の目標

正しい英語の音を理解し、聴き分け、発音できるようになる。その結果、リーディング・ライティング力と差のないリスニング、スピーキング力を身に付ける。また、基本的な英文法を理解した上で、反復トレーニングを行い、実践的な運用力を獲得する。さらに短時間で情報を読み取り、自分の考えを論理的に伝えられるようになる。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	身近な話題について、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えを適切に伝え合っている。	他者を尊重し、聞き手・読み手に配慮しながら、身に付けたことを活用して、自分の意見や考えなどを表現しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	身の回りの英語 アルファベット be 動詞の文1	身の回りの語句や基本的な表現を覚える。 アルファベットが正しく発音できるようになる。 使い分け、否定文、疑問文の作り方を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	be 動詞の文2 一般動詞の文1	what や who の入った応用形を理解する。 1・2人称に限定し、否定文・疑問文の作り方を理解する。	
	6 7	単数と複数 一般動詞の文2	冠詞も含め、英語特有の名詞感覚を身に着ける。 3単現や does を使った否定文や疑問文の作り方を理解する。	
2	9	疑問詞1 疑問詞2	where, when など基本的な疑問詞について学ぶ。 whose, how~, which など応用的な疑問詞について学ぶ。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	命令文 can を用いた文	様々な動作について指示できるようになる。 can を通じて助動詞の基礎を学ぶ。	
	11	現在進行形	基本イメージを学び、現在形との違いを認識する。 否定文・疑問文の作り方を学ぶ。	
	12	一般動詞の過去形	規則動詞を使って、否定文・疑問文の作り方を理解する。 不規則動詞をたくさん覚える。	
3	1	be 動詞の過去形 過去進行形	be 動詞の基礎を確認しながら学んでいく。 現在進行形を復習しながら、学ぶ。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	未来を表す表現 助動詞	will~と be going to の基本イメージを掴む。 両者の違いを識別する。 can, will に加え、must や may についても学ぶ。	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	技術分野	1	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい技術・家庭 技術分野』(東京書籍)	なし

1. 学習の目標

木材の性質を知識として習得する。また、コンピュータの仕組みを知る。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見だし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス	技術分野の学習の見通しを知る。	授業への取り組み 提出物 期末試験
	5	材料と加工の技術の原則・法則と仕組み	身の回りの材料と加工の技術を知る。 木材、金属、プラスチックの特性を知る。	
	6		材料に適した加工方法を知る。	
2	7			授業への取り組み 提出物 期末試験
	9	材料と加工の技術による問題解決	製品品を丈夫にする方法を知る。	
	10		設計の手順を知る。	
	11		製作に必要な図を知る。	
3	12	社会の発展と材料と加工の技術	問題解決の評価、改善・修正について考える。 材料と加工の技術の最適化について考える。	授業への取り組み 提出物 学年末試験
	1	情報の技術の原理・法則と仕組み	情報の技術について知る。	
	2		情報のデジタル化を知る。	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術家庭	家庭分野	1	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生をめざして』 (東京書籍)	なし

1. 学習の目標

衣服の働きや選び方を学び、衣服の活用法や手入れ方法を理解する。また、ミシンの基本的な使い方及び手縫いでの基礎縫いができるようになり、簡単な衣服の修繕方法を知識・技術ともに理解する。さらに、住まいの役割や快適で安全な暮らし方を理解する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
自分の生活について関心をもち、充実・向上を目指し、主体的に取り組もうとする実践的な態度を身につけている。	さまざまな分野での課題を見いだして、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	さまざまな分野での課題を見いだして、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	衣生活と自立 衣服の選択と手入れ	衣服のはたらきを理解する。	授業への取り組み 期末試験 小テスト 提出物 出席状況
	5	どうして衣服を着るのだろう	衣服の目的に応じた着方や、個性を活かした着方を知る。	
	6	私らしさと T.P.O ～着方の工夫～	既製服の適切な選択方法を知る。	
2	9	衣服計画と 必要な衣服の選択	衣服の手入れの必要性を理解する。	授業への取り組み 期末試験 小テスト 提出物 行動観察 出席状況
		生活を豊かに するために	ミシンの基本的な使い方を理解する。	
	10	被服実習 (ミシン)	布の成り立ち、特徴について理解する。	
	11	被服実習 (手縫い)	並縫い、まつり縫い、ボタン付けを身につけ、生活に役立つ小物を制作する。	
	12	作って楽しい布作品		
3	1	持続可能な 衣生活を目指して	住まいの役割を知る。	授業への取り組み 学年末試験 小テスト 提出物 出席状況
	2	住生活と自立 住まいの役割と 安全な住まい方	快適に過ごすための室内条件を知り、室内環境を整える方法を理解する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

令和3年度 道徳科 シラバス (中学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
道徳	道徳	1	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学道徳1 きみが いちばん ひかるとき』(光村図書)	

1. 学習の目標

よりよい生き方とは、どのようなものかを考える。また道徳的な問題を見つけ、その問題について考えを深め、自分で生きていけるようにする。道徳を学ぶことで、多様な感じ方や考え方、ものの見方を身につける。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
自分の意見を冷静に、秩序立てて表明できている。	他人の意見を尊重し、多目的に物事を見て判断する姿勢が身についている。	自ら積極的に考える姿勢を持っている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1 導入	何を、なぜ、どのように学ぶのかを考える。	授業への取り組み 提出物 行動観察 ポートフォリオへの入力 観点別評価は行わない。
		2 自主、自立、自由と責任	自分で何かを決める時に大切なことについて考える。	
	5	3 家族愛、家庭生活の充実	家族について考える。	
		4 節度、節制	健康に毎日を送るために大切なことについて考える。	
		5 希望と勇気、強い意志	夢をかなえるために大切なことについて考える。	
	6	6 公正、公平、社会正義	いじめが起こらない集団を作るために大切なことについて考える。	
		7 相互理解、寛容	人と人がわかり合うために大切なことについて考える。	
		8 心理の探究、創造	真理を追究していくのに大切なことについて考える。	
		9 思いやり、感謝	思いやりや感謝の心を育てていくために大切なことについて考える。	
	7	10 学校生活、集団生活の充実	集団での活動を充実させるために大切なことについて考える。	
		11 生命の尊さ	人がなぜ「命の尊さ」を感じるのかについて考える。	
2	9	12 自主、自立、自由と責任	「自分の行動に責任を持つ」とはどういうことかについて考える。	授業への取り組み 提出物 行動観察 ポートフォリオへの入力 観点別評価は行わない。
		13 思いやり、感謝	相手を思いやって行動する時に大切なことについて考える。	
		14 礼儀 松葉づえ	人と関わる時に大切な「礼儀」について考える。	
	10	15 相互理解、寛容	立場の違う人と関わる時に大切なことについて考える。	
		16 社会参画、	社会に積極的に関わっていくことで見えてくることについて考える。	
		17 勤労	人が働く理由について考える。	
		18 遵法精神、公德心	法や決まりを守ることの意義について考える。	
		19 郷土の伝統と文化	郷土の伝統や文化を大切にすることは、どういうことかを考える。	
		20 生命の尊さ	身近な存在の命について考える。	

3	11	21 自然愛護	人と自然がより良い関係を築くために必要なことについて考える。	授業への取り組み 提出物 行動観察 ポートフォリオへの入力 観点別評価は行わない。
	12	22 国の伝統と文化	昔の人が大切にしてきた伝統や文化に対して、私達ができることについて考える。	
		23 国際貢献	異なる文化を持つ人々と共に生きていくために大切なことについて考える。	
		24 よりよく生きる喜び	人としてよりよく生きるとはどういうことかについて考える。	
	1	25 友情, 信頼	友だちを大切にするとはどういうことかについて考える。	
		26 よりよく生きる喜び	心の弱さを乗り越えるものは何かについて考える。	
		27 公正, 公平, 社会正義	正義や公正さについて考える。	
	2	28 向上心, 個性の尊重	自分の良さを伸ばすために大切なことについて考える。	
		29 感動, 畏敬の念	人はどうして感動するかについて考える。	
		30 生命の尊さ	「生きる」とはどういうことかについて考える。	
	3	31 振り返り	1年間の学びを振り返る。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		(50 時間)	中学1学年 全クラス

使用教科書	副教材
なし	なし

1. 学習の目標

総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	フィールド実習	ガイダンス、整地 トウモロコシ、トマト、サトイモ定植 整地	
	5	フィールド実習	ナス、ピーマン、サツマイモ定植 栽培管理 (除草、支柱立て、誘引)	
	6	フィールド実習	ジャガイモ、果実類収穫・栽培管理	
2	7	フィールド実習	ジャガイモ、果実類、トウモロコシ収穫	
	9	フィールド実習	大根、小松菜、ホウレンソウ、水菜播種、間引き キャベツ、ブロッコリー定植 白菜、ピーマン収穫	
	10	職業学習 フィールド実習	「キッザニア東京」において、様々な職業を体験することによって働くことについて考える。・葉菜類収穫、播種 栽培管理	
	11	フィールド実習	サツマイモ収穫 葉菜類、大根、サトイモ収穫 片づけ	
3	12	国際理解教育	英語圏の国々についての理解 (文化、歴史など) ネイティブとの実践英会話練習 ・スピーチ発表	
	1	フィールド実習	果実類収穫 片づけ	
		フィールド実習	土づくり ナス、ピーマン、トマト播種 (次年度用)	
	2	フィールド実習	ジャガイモ植え付け (次年度用)	
	3	フィールド実習	ジャガイモ植え付け (次年度用)	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。